

## 平成 27 年度 第 1 回理事会

場所：富山医療福祉専門学校

日時：平成 27 年 4 月 13 日（月）19：00～

参加者：作田、浅生、田邊、丸本、吉波、島津、齋藤、高林、松本、森、小倉、谷口、  
広野

以下の事について検討した。

### <検討事項>

1. 会員管理システム—マルチメディア工房陽の古川氏より進捗状況を聞く。システムを効率よくするためには製作費が 15～20 万円程度別途必要との報告を受け、承認する。また、システムに多くの情報を入れる必要はあるが経費がかかるため、毎年予算を立てながら更新していく。
2. 会費の値上げ—現状は、前年度繰越金が 300 万円程ある。年々、事務局の必要経費が増加傾向にあるが、今年度の値上げは保留とする。平成 27 年度定期総会時に、将来的に値上げする可能性が予測されるため財務状況を説明する。
3. 協会との協定書の締結—異議なく締結書を提出する予定。
4. 東海北陸 OT 学会の開催時期—全国学会（9 月開催予定）や県学会の時期も含めると 11 月開催が適当ではないかという案を東海北陸連絡協議会に提出する。
5. 理事会議事録の輪番制—異議なく 6 月から開始する。
6. 会員へのメールでの配信体制—会員管理システムを利用できるよう検討する。
7. 総会日程、内容—6 月 7 日あるいは 14 日で検討中。
8. 平成 27 年度功労表彰—本郷朋子氏、津島朋美氏（山田温泉病院）、扇山和也氏（リハビリディサービス高岡）、濱田朋子氏（黒部市民病院）、開澤裕子氏（国立病院機構北陸病院）推薦。

### <報告事項>

1. OT 協会との全国研修会打合せ会議—4 月 18 日 13:30～富山国際会議場
2. 平成 26 年度地域医療再生リハビリ従事者業務啓発事業補助金実績報告書—事業報告書（作業療法体験会、健康と長寿の祭典）、収支決算書（事業費 359,784 円うち補助金 30 万円）を 3 月 27 日付けて提出
3. 生涯教育制度推進担当者—谷口氏を推薦（任期 29 年 3 月 31 日まで）
4. 第 6 回訪問リハビリテーション地域リーダー会議 5 月 21, 22 日 東京—田邊氏、河原氏推薦
5. 第 1 回 47 都道府県委員会 4 月 12 日 10:00～12:30 東京
  - ・新しい介護予防・日常生活支援総合事業（27 年 4 月 1 日改正）→地域リハビリテーション活動支援事業の追加=地域における介護予防の取り組みを機能強化するために、通所・訪問、地域ケア会議、サービス担当者会議、住民運営の憩いの場へのリハビリテーション専門職等の関与を促進する。
    - 地域支援事業の先駆的取り組み—茨城県、北海道士会の報告。
    - 第 2 回 5 月 31 日（広野氏出席）は認知症関連事業について報告。
  - ・ 26 年度までに生活行為向上マネジメント研修をおえた協会員には 27 年 4 月 1 日付けの修了証を送る。
  - ・引続き 13:15～16:30 PT・OT・ST 協会三士会長合同会議
    - 地域支援事業を三士会協働事業として実施していく体制の構築
      - モデルケース茨木・山梨・大分県士会の紹介→各県士会別行動指針の作成
      - 富山県三士会会議を 4 月中に開催し、人材派遣・育成等を検討。
6. 生活行為向上、認知症初期集中研修会進捗状況

施設使用願い・講師依頼に関する公文書を関連施設の送付予定。

7. 南砺市医師会在宅医療連携に関わる情報交換運営世話人会―神野剛氏に交代。
8. 教育部―きときとハンドセラピィ勉強会を SIG として承認。
9. 富山医療福祉専門学校施設使用料―1 時間 4,000 円での使用となる。